

# 国際的なパーム油生産・市場の 現状とガバナンス構造の課題

アジア経済研究所

吉田 暢

2016年7月29日

国際開発学会 社会連携委員会セミナー

日比谷図書文化館

# 目次

1. パーム油とはなにか、なにが問題なのか
2. 国際的なパーム油生産・市場の現状
3. 国境を超えたガバナンス
4. 国際的なパーム油生産・市場のガバナンス：  
RSPOの取組
5. RSPOの成果と課題
6. まとめ

# 1. パーム油とはなにか、なにが問題なのか

- パーム油は主要な植物油脂のひとつで、全世界における植物油脂消費の約65%を占め、主に食品や日用品の原料として使用 (WWF 2016)。
- パーム油は二種類に分類。ひとつは果実から採取されるパーム油 (palm oil) で、主に食品原料として使用。もうひとつは核から採取されるパーム核油 (palm kernel oil) で、主に洗剤や化粧品原料として消費 (WWF 2016)。
- パーム油は他の植物油脂に比べて約2～10倍の単位あたり収量 (Brown 2006)。 ※但し、この数値はバイオディーゼル生産を前提とした推計値であることに留意。
- パーム油生産が拡大することに伴う、森林資源の減少、気候変動への影響、生物多様性への影響、強制的な土地収用、労働者の権利侵害などが懸念されている(WWF 2016)。
- 従って「持続可能な調達」が課題。

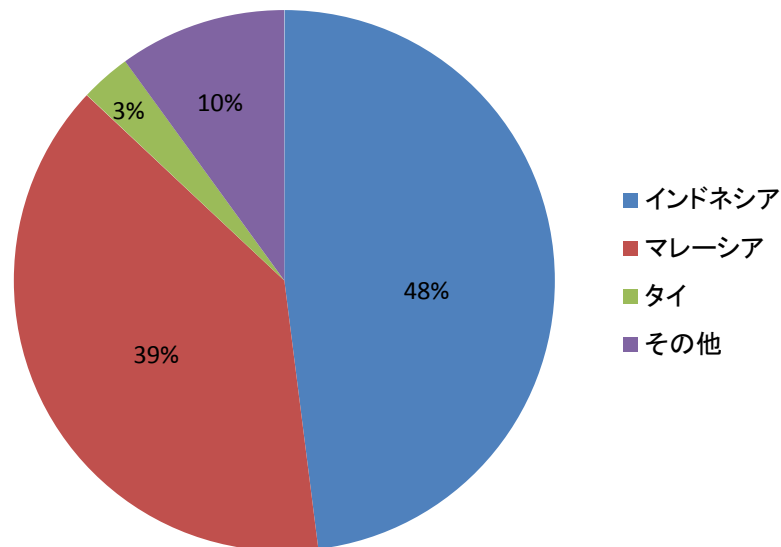
植物油脂	単位あたり収量 (ガロン/エーカー)
パーム油	508
ココナツ油	230
菜種油	102
ピーナツ油	90
ひまわり油	82
大豆油	56

## 2. 国際的なパーム油生産・市場の現状

### 主要生産国・消費国

#### 主要生産国

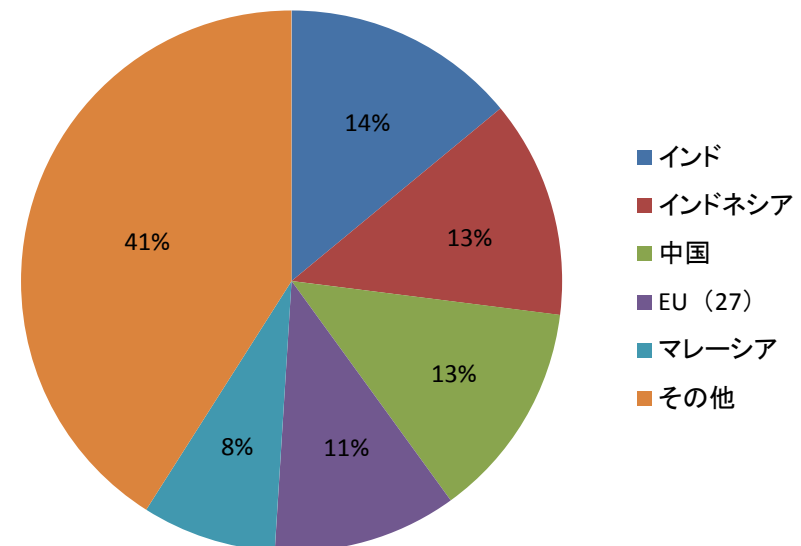
5カ年(2007-2011)の平均(重量ベース)



80%以上の生産がインドネシアとマレーシアに集中

#### 主要消費国

5カ年(2007-2011)の平均(重量ベース)

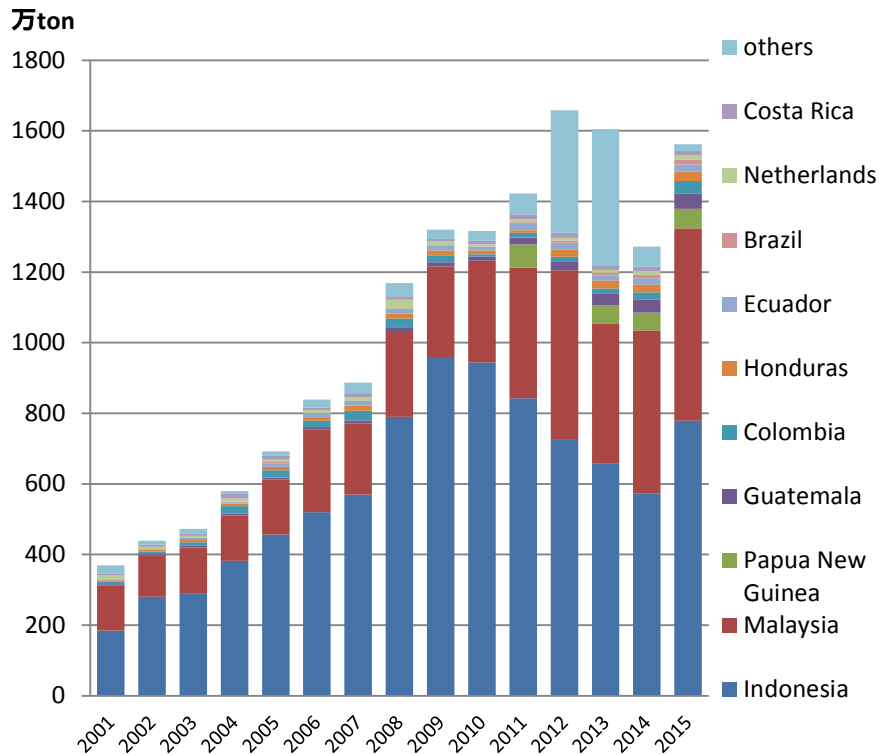


少なくとも約50%の消費は新興国市場に集中

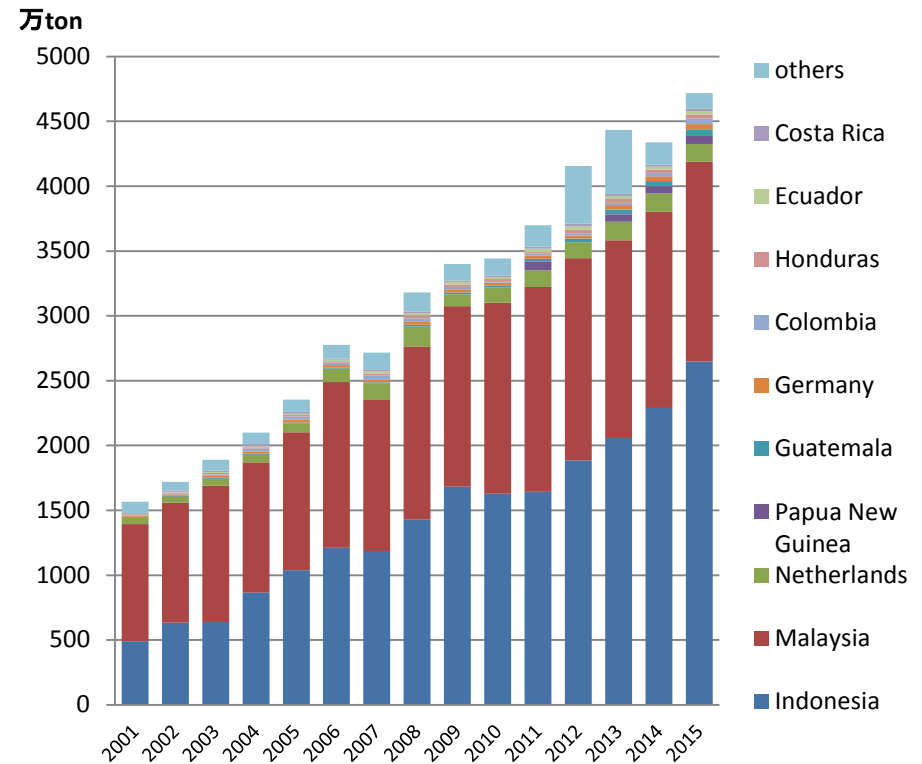
## 2. 国際的なパーム油生産・市場の現状

### 主要輸出国の動向

パーム油（粗油HS151110）  
輸出・国別・重量ベース(2001-2015)



パーム油（粗油+その他分別物HS1511）  
輸出・国別・重量ベース(2001-2015)

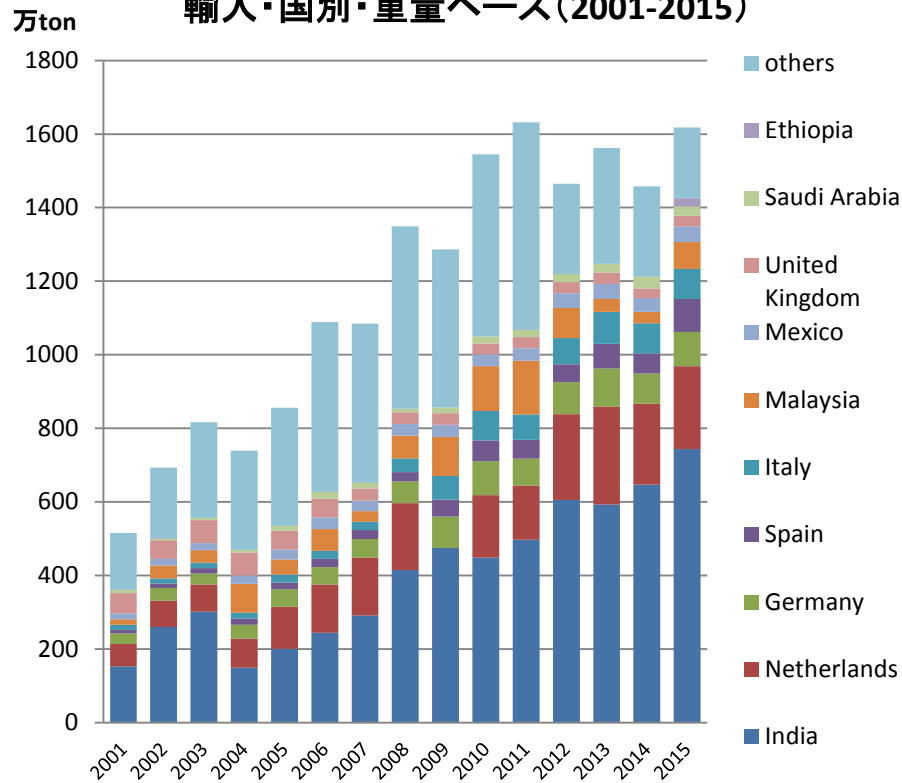


## 2. 国際的なパーム油生産・市場の現状

### 主要輸入国の動向

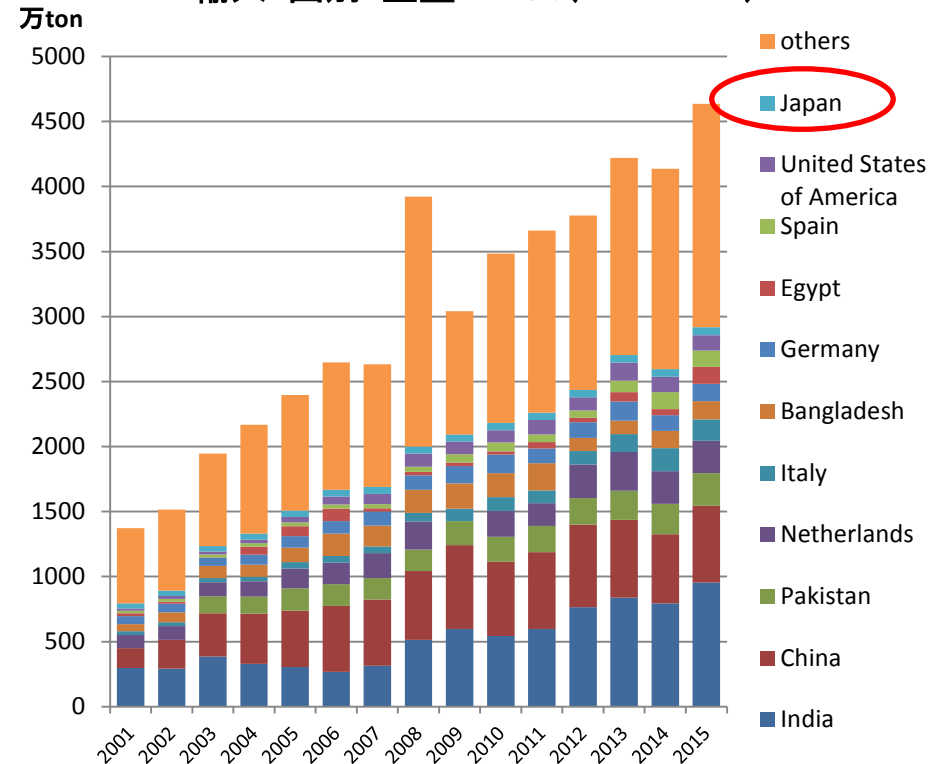
パーム油(粗油HS151110)

輸入・国別・重量ベース(2001-2015)



パーム油(粗油+その他分別物HS1511)

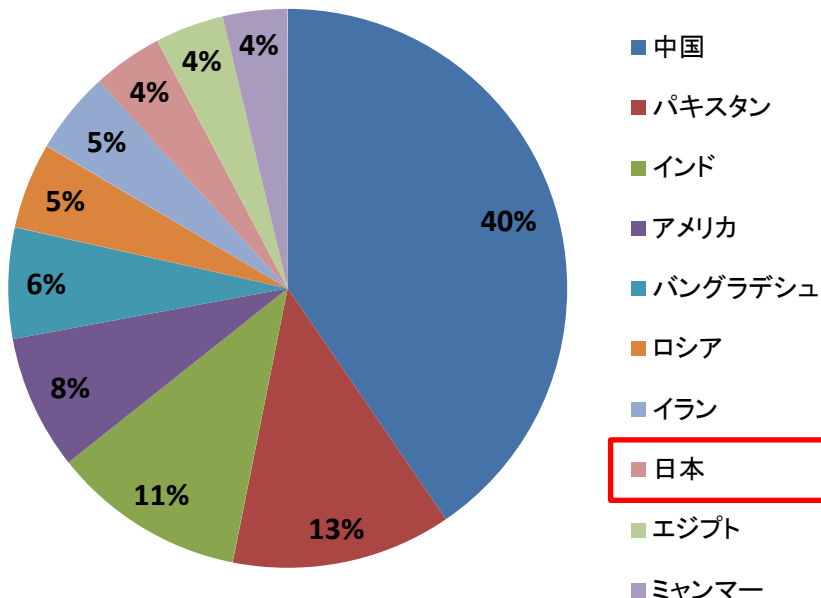
輸入・国別・重量ベース(2001-2015)



## 2. 国際的なパーム油生産・市場の現状

### 主要輸入国の動向

パーム油(粗油以外HS151190)  
主要輸入国(直近6年平均TOP10)の輸入量  
(2010-2015平均重量ベース:トン)



パーム油(粗油以外HS151190)主要(直近6年平均TOP10)  
輸入国の輸入量推移(2010-2015重量ベース:トン)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中国	5,493,624	5,820,119	6,281,549	5,869,598	5,318,729	5,896,119
パキスタン	1,447,870	1,271,238	1,606,625	1,940,287	2,248,947	2,385,039
インド	950,448	1,000,262	1,600,474	2,456,951	1,457,925	2,102,685
アメリカ	947,766	1,087,526	990,966	1,281,976	1,186,966	1,176,119
バングラデシュ	301,918	562,353	918,837	989,860	1,314,928	1,408,999
ロシア	654,793	629,747	654,159	740,578	704,324	886,830
イラン	621,543	539,798	818,034	966,880	703,889	416,777
日本	551,104	569,368	562,770	581,586	587,384	619,899
エジプト	237,979	383,199	317,144	705,054	466,041	1,296,957
ミャンマー	215,988	414,951	512,242	619,074	644,647	797,419

## 2. 国際的なパーム油生産・市場の現状

「新興」生産国の成長（成長率/重量ベース：2003～2013）

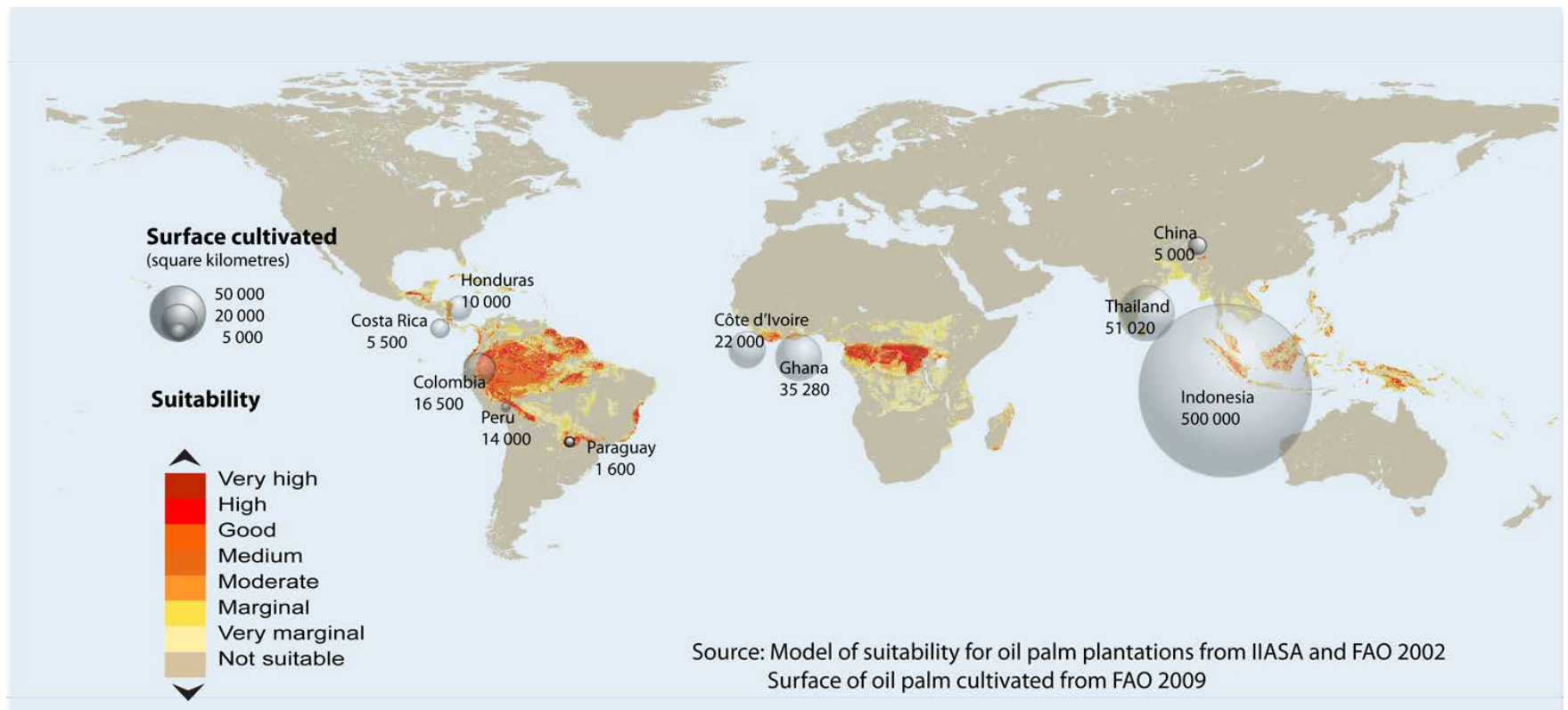
	生産国	成長率		生産国	成長率
1	ペルー	526%	9	ベナン	175%
2	グアテマラ	473%	10	パプアニューギニア	153%
3	インドネシア	272%	11	エクアドル	147%
4	ホンジュラス	269%	12	カメルーン	139%
5	タイ	228%	13	コンゴ民主共和国	125%
6	コートジボワール	184%	14	ガーナ	111%
7	フィリピン	180%	15	ナイジェリア	94%
8	コロンビア	179%			



## 2. 国際的なパーム油生産・市場の現状

パーム油生産地の地理的な拡大の可能性

サブサハラアフリカ、ラテンアメリカに生産が拡大する？



### 3. 国境を超えたガバナンス

公的なガバナンス	民間主体のガバナンス
WTO, UNFCCC, BIS, CODEX...	Responsible Care, ETI, Kimberley Process, UN-Global Compact, RSPO, ...

国境を超えたガバナンス＝一国の法律では管理しきれない＝共通の基準（スタンダード）が必要

基準（スタンダード）の5大要素	
基準の設定 (Standard Setting)	誰が基準を設定するのか
基準の適用 (Adoption)	誰が基準を適用するように求めるのか
基準の運用 (Implementation)	誰が適用された基準を運用する必要があるのか
基準運用の審査 (Conformity assessment)	誰が基準が適切に運用されているかをチェックするのか
違反に対する強制力 (Enforcement)	誰が(どのように)不適切な運用を是正するための強制力を執行するのか

### 3. 国境を超えたガバナンス

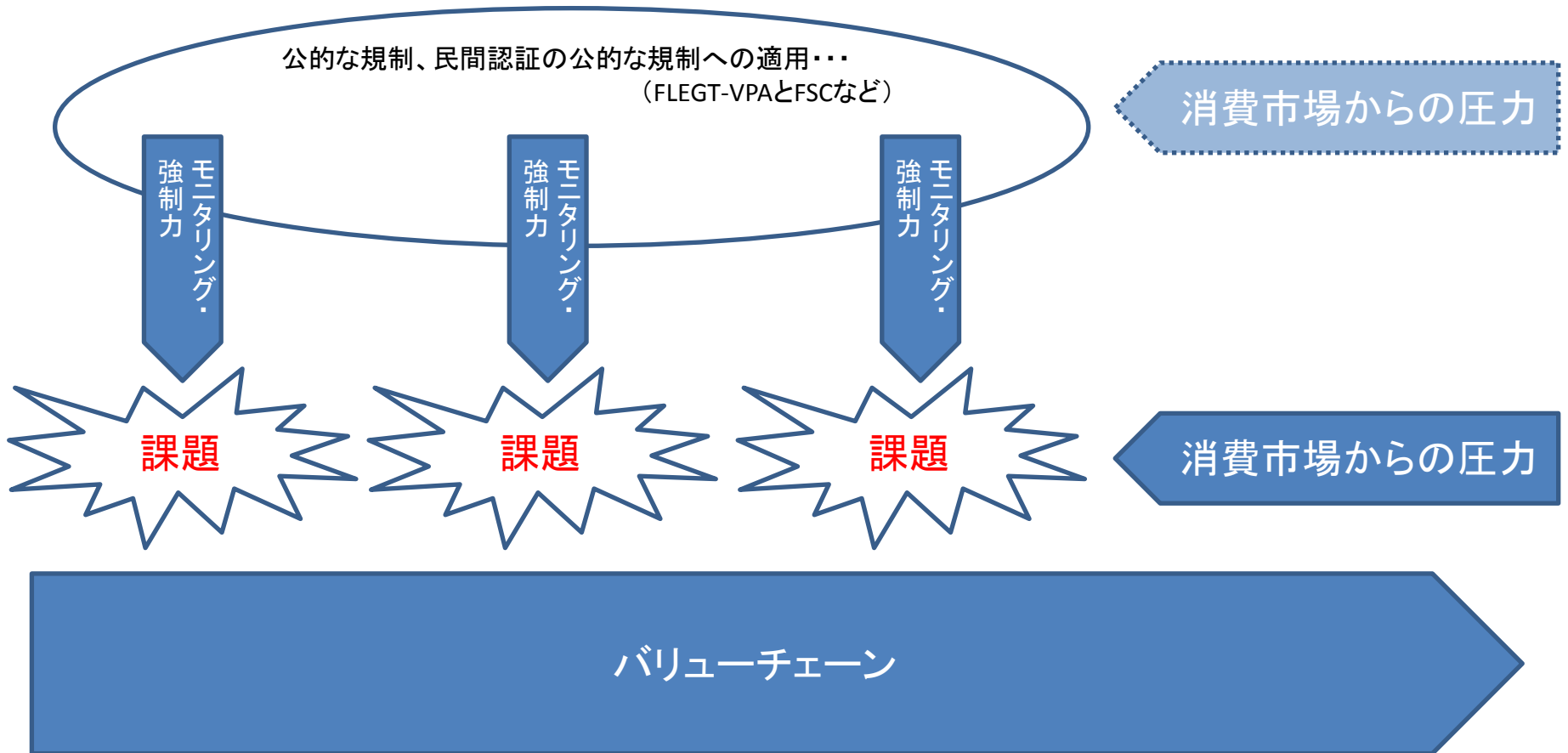
法的拘束力のある基準	自発的に適用する基準
遵守違反をすれば刑事罰あるいは行政指導	遵守違反に対する強制力はない(あるいは弱い)が風評リスクなど

- ①製品そのものの品質に関するもの(化学物質、食品安全)
 

公的な規制の整備が進んでいるとともに、消費市場からの圧力を受けやすい(消費者が違反に敏感である)ため、違反した場合の風評リスクも顕著であることから遵守が促されやすい。
- ②生産・流通過程における管理に関するもの(製造方法、環境・労働基準)
 

企業間取引における製造方法の統一や環境・労働基準への適用などは(重要ではあるが)、消費市場からの圧力を受けにくい(製品自体の品質に問題がないので消費者が敏感でない)ため、違反した場合の風評リスクがさほどなく、遵守が促されにくい。但し、パレルの事例のように大きな問題として報道されるようになると、市場からの圧力がある程度効くこともある。パーム油におけるRSPOの枠組みは、どちらかというところらに該当する。

### 3. 国境を超えたガバナンス



## 4. 国際的なパーム油生産・市場のガバナンス： RSPOの取組

### RSPOの目的

Roundtable for Sustainable Palm Oil (RSPO: 持続可能なパーム油のための円卓会議) は2004年に設立された、持続可能なパーム油の生産・市場形成を目指す民間の組織。パーム油生産業、搾油・貿易業、消費者製品製造業、小売業、銀行・投資会社、環境NGO、社会・開発NGOの7つのセクターからメンバーが参加している。

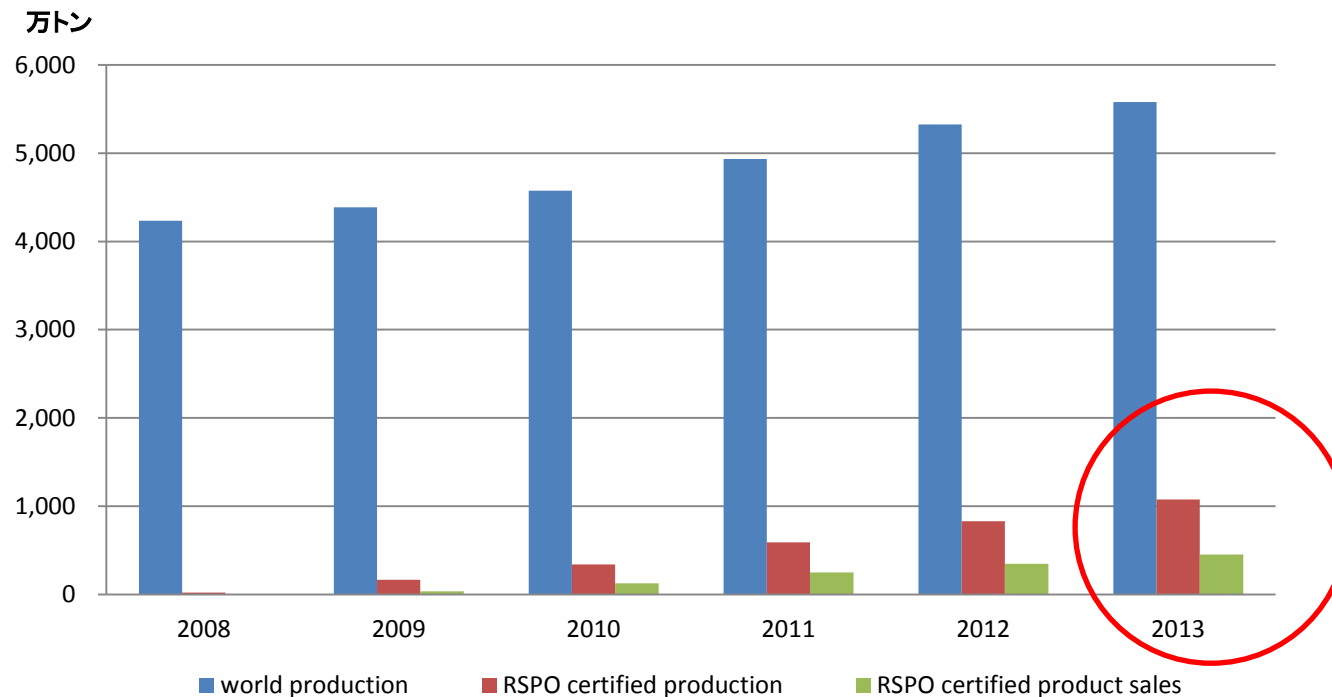
### RSPOの認証制度

- 農園認証
  - 8原則、43基準 (Principles and Conditions: P&C)
- トレーサビリティシステムとサプライチェーン認証
  - 3種類の調達スキーム (Identity Preserved, Segregation, Book and Claim)
- メンバーシップ
  - 審査、Annual Communications of Progress Report (ACOP)の提出

欧州11カ国(政府と業界)がNational Commitment(国単位の調達行動目標)を設定

## 5. RSPOの成果と課題

RSPO認証パーム油の生産・販売実績(2008-2013)



RSPO認証パーム油は全体の約20%、うち調達されたのは約50%  
 →全世界で生産されるパーム油の約10%がRSPO認証であり、かつ調達された(2013年時点)。

## 5. RSPOの成果と課題

Laurence et al (2009)による批判	2016年までの状況
<p>会員が極端にビジネスセクターに偏っている。2009年時点で312の正会員のうち、環境、社会開発NGOはそれぞれ12、9であり、合計で全体の6.7%に過ぎない。Executive Board (EB)の構成もビジネスに偏っている(エビデンスなし)。</p>	<p>正会員数1406のうち、環境、社会開発NGOはそれぞれ32、14であり、合計で全体の3%。また生産地が東南アジアからアフリカ、ラテンアメリカに拡大する傾向があるが、これらの国からのNGOセクターの参加が限定的(日本からは参加なし)。EBに相当するBoard of Governors (BG)の構成は、ビジネス12、NGO4。</p>
<p>泥炭地開発の全面禁止を履行していない。</p>	<p>新たに導入されたRSPO NEXTにおいて、既存のP&amp;Cに追加する形の「自発的な基準(voluntary criteria)」の中で、2015年11月16日以降の新たな泥炭地開発を禁止。</p>
<p>モニタリングキャパシティの不足。強制力が弱い。</p>	<p>(マレーシアを除く)世界各国におけるメンバー企業のパーム油生産地の電子地図をウェブ公開する予定(2016年第二四半期～)。 <a href="http://www.globalforestwatch.org/">http://www.globalforestwatch.org/</a></p>
<p>RSPO認証油のマーケットが小さい。パーム油の主要市場は中国やインドなどの新興国であり、認証油への需要が(先進国市場と比べて)小さい。</p>	<p>2013年時点で、認証油の生産は全体の2割、そのうち調達対象となったものは5割。</p>

## 6. まとめ

- 国際的なパーム油の生産は約80%が東南アジア(インドネシア・マレーシア)に集中しているが、近年アフリカ、ラテンアメリカの新興生産国も成長していて、生産拡大の潜在性が高い。将来的に、規制が緩く基準の適用が届きにくい国への生産移転が起こる可能性がないとはいえない。
- 国際的なパーム油の消費は、50%超が新興国(インド、中国等)に集中している。認証油の生産・調達の増加に向けた消費市場からの圧力効果を高めるためには、すでにNational Commitmentを設定している欧州以外の消費国にも同種の調達目標の設定が広がるかどうか为主要な課題のひとつ。
- 環境、人権等(企業主導のバリューチェーンからみた外部性)に配慮したRSPOの認証基準は、製品の品質自体にプレミアムがつくわけではないので、たとえ遵守しなかったとしても市場からの圧力を受けにくい。→認証油をより普及するためには、消費市場からの圧力に加えて、他のアプローチ(強制力を持った規制の導入、民間認証の公的規制への適用等)をあわせた枠組みを検討する必要がある(FLEGT-VPAとFSC、Global-GAPとインドネシアの農産品輸入枠申請など)。



# 引用・参考文献

- ❑ Brown, R, L,. (2006) *Plan B 2.0: Rescuing a planet under stress and a civilization in trouble*, New York: W.W. Norton and Company
- ❑ CDP (2016) *Forest risk commodities* <https://www.cdp.net/en-US/Programmes/Pages/forests-palm.aspx> (accessed: 19, July 2016)
- ❑ Laurence, F. W., Koh, P., L., Butler, R., Sodhi, S. N., Bradshaw, A. J. C., Neidel, D. J., Consunji, H., and Vega, M. J., (2009) Improving the performance of the Roundtable on Sustainable Palm Oil for Nature Conservation, *Conservation Biology*, 24-2 377-381
- ❑ RSPO (2016) *Who we are* <http://www.rspo.org/about/who-we-are> (accessed: 19, July 2016)
- ❑ UNEP (2011) *Thematic Focus: Ecosystem Management and Resource Efficiency* [http://na.unep.net/geas/getuneppagewitharticleidscript.php?article\\_id=73](http://na.unep.net/geas/getuneppagewitharticleidscript.php?article_id=73) (accessed: 19, July 2016)
- ❑ WWF (2016) *What is palm oil?* [http://www.wwf.org.au/our\\_work/saving\\_the\\_natural\\_world/forests/palm\\_oil/](http://www.wwf.org.au/our_work/saving_the_natural_world/forests/palm_oil/) (accessed: 19, July 2016)